

親から子へ子から孫へ
受け継がれる歴史
「やつしろ」に残る
歴史ある雛人形たちを
ご堪能ください

やつしろの

お雛祭り

第17回 城下町「やつしろ」のお雛祭り

オープニングセレモニー

〔日時〕2月9日(土) 11時、12時

〔会場〕本町2丁目アーケードイベント広場

〔出演〕◎八代白百合高等学校 箏曲部演奏

◎夕葉保育園 太鼓演奏

第10回 ひなぐ雛祭り

オープニング・雛迎えの儀

〔日時〕2月9日(土) 15時、18時

〔会場〕日奈久温泉センターばんべい湯、日奈久ゆめ倉庫

〔出演〕◎秀岳館高等学校 雅太鼓演奏

◎八代白百合学園高等学校 箏曲部演奏

◎そがみまこ童謡コンサート



開催日時

平成31年

2月9日[土]



3月3日[日]

松浜軒のお雛様(琴姫の古今雛、天保10年・1839年)

■主催/城下町やつしろのお雛祭り実行委員会 ■協力/本町1・2・3丁目通町商店街、八代市内飲食店、松浜軒、八代市立博物館未来の森ミュージアム、日奈久住民自治会
■問い合わせ先/城下町やつしろのお雛祭り実行委員会事務局(やつしろよれす編集部内)TEL0965-37-8005、八代市観光物産案内所(9:00~17:30) TEL0965-35-6627

やつしろのお雛祭り、ひなぐ雛祭りHP <https://8246ohina.com>

イベント詳細はこちら



第10回

ひなぐ雛祭り

|開催日時|

2.9(土) - 3.3(日)

歴史が息づき、風情ある湯の里。
600年の歴史ある日奈久温泉街の旅館や
「ばんぺい湯」などに、
雛飾り、手作り雛を展示します。



ひなぐ雛祭りオープニング 雛迎いの儀



[日時]2月9日(土)15時~18時
[会場]日奈久温泉センターばんぺい湯~
日奈久ゆめ倉庫

- ◎秀岳館高等学校雅太鼓演奏
- ◎八代白百合学園高等学校箏曲部演奏
- ◎雛迎いの儀
- ◎そがみまこ童謡コンサート

※雨天時は日奈久ゆめ倉庫にて開催

メインイベント

雛送りの儀 2.24(日)



お
か
み
カ
フ
エ

日奈久温泉旅館のおかみさんたちの手作りランチがいただけます。

- ◎時間 / 11時~売り切れ次第終了
- ◎会場 / Café 百年通り(鏡屋旅館)
- ◎料金 / 500円 (100食限定)

ひなぐ雛手作り体験

- ◎日時 / 2月10日、16日、17日、23日、24日、
3月2日、3日
期間中各土日計7回開催(2月9日除く)
午前の部10:00~12:00 午後の部13:00~15:00
- ◎会場 / 日奈久ゆめ倉庫
- ◎参加費 / 1000円、1200円
(3種類の人形からお選びいただけます)
- ※予約不要



うまかもん市

日奈久の美味しいものが
ぞろい!

- ◎時間 / 10時~15時
- ◎会場 / 日奈久温泉街一帯

古布市

貴重な古布を集めた古布市。
掘り出し物を探そう!

- ◎時間 / 10時~15時
- ◎会場 / ばんぺい湯駐車場

雛ぜんざい

婦人会による手作りぜんざい
が登場します

- ◎時間 / 10時~
無くなり次第終了
- ◎会場 / ばんぺい湯駐車場
- ◎料金 / 100円(250食限定)

路地裏春探し

日奈久の風情ある路地裏散策。
春を見つけにいきませんか?

- ◎時間 / 13時~
- ◎集合受付 / 日奈久ゆめ倉庫
- ◎参加費 / 100円

雛送りの儀

- ◎時間 / 18時~19時半
- ◎会場 / 日奈久ゆめ倉庫~日奈久温泉センターばんぺい湯
- ★ありがとうのメッセージ発表
- ★チェロの演奏
- ★雛送りの儀

※雨天時は日奈久ゆめ倉庫にて開催

ひなぐ竹灯籠の幻想的な灯り
をお楽しみください

[日時]2月23日(土)、
24日(日)
18時~21時

[場所]いこいの広場

※雨天中止



八代には語り継ぎたい雛がある

毎年、松浜軒には、松井家ゆかりの雛人形やお嫁入り道具が飾られます。今も昔も変わらない、家族の幸せを願う思いが込められた品々です。

松浜軒のお雛さま

松浜軒に飾られるお雛さまは、江戸時代の天保九年(一八三八)、八代城主松井家十代章之(一八一三〜八七)に輿入した琴姫(一八一三〜四八)とその娘、孫娘の雛たちです。琴姫は、熊本藩主細川家の初代幽齋の息子興元を初代とする茂木細川家(下野国谷田部藩主)の姫で、母方の祖母は谷田部藩主細川興徳に嫁いだ



熊本藩主細川重賢の娘、父方の祖母は細川家の分家で宇土支藩主細川興文の娘という目眩がするほど光輝くお姫様でした。

松井家では琴姫のため、天保十年(一八三九)、京都三条の「幾久屋」から五組の古今雛

を買い求め、さらに翌年生まれた長女・加屋姫のために、再び同じ店から三組の雛を取り寄せています。江戸からはるばる八代へやって来た琴姫が寂しい思いをしないように

との章之の優しい心遣いなのでしょう。琴姫の面差しを写すのか、とても品のある美しいお顔の雛たちです。

子どもたちの無事を祈る

松浜軒には、雛人形に附属する雛道具も飾られます。本物の婚礼道具をそっくりミニチュアにしたものや、お姫さまたちが自ら刺繍をほどこした手まりなど、当時の女性たちの暮らしが垣間見える品々が展示されます。

松浜軒内には、児宮という小さな神社もあります。天明元年(一七八一)、子どもたちの無事な成長を祈ってまつら

れた神社です。江戸時代の優しく美しいお雛さまやかわいらしい雛道具、豪華なお嫁入り道具を堪能したら、こちらもぜひおまいりいただき、楽しいお雛祭りをお過ごしください。



松浜軒内の児宮

お雛さまの歴史

今から約千年前の平安時代、生まれたばかりの赤ちゃんに病気や災いがふりかからないように、身代わりとして枕元に置いた天児や這子と呼ばれる人形がありました。

いっぽう、季節の変わり目に人に災いをもたらす邪気をはらう節句(中国の風習)が、年中行事として行われており、主な節句に、正月七日(人日)・三月三日(上巳)・五月五日(端午)・七月七日(七夕)・九月九日(重陽)の五節句があります。

この節句行事と、子どもたちの無事な成長を願う天児や這子の人形、主に女の子の遊びであった雛などが結びついて、室町時代の中ごろ(十五世紀)、三月の節句に雛祭りが行われるようになりました。現在のように男女一対の雛人形を飾るようになったのは、江戸時代の初めごろ(十六世紀)のこと。古い雛人形は、天児と這子の形がもとになった立雛でしたが、やがて飾りやすい安定した形の坐雛が生まれ、それに付属する雛道具も種類を増し豪華になっていきました。以来、三月三日の雛祭りは、女の子のすこやかな成長と幸せを願うお祭りとして、すっかりなじみ深いものとなっています。



加屋姫の古今雛(天保11年・1840年)

松浜軒／松井文庫【企画展示】 「松井家の雛祭り」

【会期】平成31年2月2日(土)～3月31日(日)
【会場】松浜軒／松井文庫
(驥齋展示場、第二展示場)

※開館時間／9:00～17:00まで(ただし入館は16:30まで)
※休園日／毎週月曜
※入園料／大人500円 小中学生250円
※お問合せ先／☎0965-33-0171

